



スキー協通信

No.460

発行
2023. 10. 1

東京都勤労者スキー協議会

〒114-0014 東京都北区田端1-24-22山柿ビル3F 03-5842-1932
ホームページ：<http://www.tokyoskikyo.org/> E-mail：info@tokyoskikyo.org
ゆうちょ銀行口座： 00110-7-88004（東京都勤労者スキー協議会）
00140-5-659281（東京スキー協スキーメイト係）
広報局専用 E-mail：tskikyo.koho@gmail.com

発行責任者
出崎福男

スキーセミナー2023 開催

高齢化と会員減少の二大課題克服の道を探る



スキー指導について大切にしていること

「ワタシのミライ」9.18 集会とパレードに参加



目次

リレーエッセイ「雪紋」／指導員ミーティング開催案内	2頁
スキーセミナー2023の報告と感想	3・4頁
寄稿：アクション「ワタシのミライ」に行ってきました	5頁
平和駅伝&BBQ案内	6頁
雪崩ビーコン操作訓練の案内	7頁
10・11月のカレンダー／エビノシッポ	8頁

気候危機を感じたら、今すぐ声を上げよう!!

今冬の降雪状況はどうなるのかなあ

リレーエッセイ

雪紋

東京スキー協 副会長 間間 至

8月に4年ぶりに日本の夏祭り「青森ねぶた祭り」に行き、楽しむことができました。祭りのメインの巡行は夜19-21時、4年前の気温との肌感覚からの違いは、とにかく蒸し暑かった！（後のビールがおいしかったけど（^-）-☆）今年も東北・日本の各地で、世界の各地で異常な気候・異常気象による洪水、土砂災害が発生して、被害も拡大している。温暖化で危機に陥っていることが警鐘されているが、気候危機の取り組み、各国が合意・約束をしている-1.5℃の達成が出来るのか、本気で取り組まれているのか？日本の気候対策は遅れていると、感じてしまいます。

「ワタシのミライ」イベント&パレード・9月18日（月・祝）・代々木公園に、東京スキー協から参加呼び掛けがあり、午後に出かけて参加してきました。「再エネ100%と公正な社会を目指して」と、世界の仲間とともに一歩を踏み出そう！と呼び掛けられています。

スキーヤー・清澤恵美子さん・POWアンバサダー・も参加、コーナーで発言されています。全国の小川さん、山スキー部会の面々、東京の出崎さん等々、公園通りを渋谷駅まで一緒にパレード。「再エネ100%」「NO Nukes」「NO Fossils (化石?)」「NO War」を唱和

主催：ワタシのミライ/Fridays For Future Tokyo/さようなら原発1000万人アクションの3団体によるイベント&パレード。多くをここでは語れませんが、ウェブサイト：<https://watashinomirai.org/>へアクセスをお願いします。

10月には、高野山に行ってみたくて考えています。今冬、降雪がありますように！テクニカルフェスタが大成功になりますように！弘法大師様にお願いしてこようかと（^-）-☆

指導員ミーティングを開催します

指導上の悩みや疑問、指導上の工夫を交流し 指導力のレベルアップをしよう！

- とき：2023年10月28日（土）13：15～17：00
- ところ：杉並区高井戸地域区民センター第2集会室 京王井の頭線「高井戸駅」から徒歩3分
- 対象：東京スキー協所属のスキー指導員
- 内容：①指導の実践の報告から指導を考える
②2024 シーズンテーマ解説動画視聴 ③その他
- 定員：25名
- 参加費：1,000円（当日支払い）
- 定員：25名（最終〆切は5/12（金）23：45）当日の受付はしません。
- 申込み：電子申込みをお願いします（下を参照）
- 参加費：1,000円（当日お支払いください）※指導員理論研修扱いではありません
- ◆参加申込方法（複数の方の申込みは人数分だけ申込みを繰り返してください）



申込み締切り：10月21日（金）23：45

【1】スマホ、タブレットから 右のQRコードを読み込む。

【2】パソコンから <https://forms.gle/EMQ4ksqwC4SciQH7>



2023スキーセミナー

9月3日(日)、東京スキー協主催の「スキーセミナー2023」が、北区王子の「北トピア」で開かれ、24クラブ54名が参加しました。

「スキー協の二大課題を克服するために何が必要か？」と題して福島明指導員部部長が今年の「指導員登録」のデータを基にパワーポイントで説明。今年の技術部のテーマは「ポジショニング」で、2年前からの「角付け」「荷重」を加えた3テーマで新しいDVDが制作されていることも紹介されました。

第2部は、^{みずかみ}水上昇さんのお話は「スキー指導でたいせつにしていること」。小学生からスキーに親しみ、スキー部のある高校に進学し、シャトー塩沢のパトロールから現在の妙高プロスキースクール(SIA)のスキー教師としてスキーに関わっています。数年前、スキー協が魚沼市の大原スキー場で吉岡大輔さんのレッスンを受けたくて参加し、そこにいたスキー協のクラブ「まっくろけ」に入会したという繋がりで。

感想の一部

高齢化と会員減少を克服するために 何が必要か？ (福島さんのお話)

- ・ オフシーズンのトレーニングの情報は役立ちました。スキー人口の減少やコロナ禍など、難しい状況が続いているので今年から少しずつ参加を増やそうと思います。
- ・ 各クラブが家族ぐるみで参加できるような活動が必要です。
- ・ コロナからIT化のすすめも会員をつなげていくには必要と思うSNSでの発信は、若者はインスタ、ツイッターは見ている人が多いので発信の余地あり、自分のクラブで実践してみようと思います。
- ・ 頭が痛いですが、やはり世代交代が必要ですが難しいです。コロナで中断したバスツアー、特に春休みスキーを充実させ、新しい人の参加をきっかけにするのが近道でしょう。
- ・ 会員減少について、①指導員を育てる、②例会をもつ、③欠席者のフォローを心がけているので会員の減少は少ない、スキー以外でも会員の交流を持つことも減少を止める方法ではないか
- ・ 多岐に渡って課題の多さに気づかされました、私は指導員ではないのですが、いつも指導員の方々の献身的な活動に感謝しています。指導員の方々の義務についての経緯が数値的に表示されることにより、より分かりやすく

なおかつ意識的に取組まれてきたのがわかりました、そのことが私たちの技術向上に反映されているのだとあらためて思いました。

- ・ 基本的な部分での努力が大切なことはあらためて理解できました。昨今の費用高騰が気軽に声を掛けて広げるといふ部分で大きなハードルになっている点も対策していく必要があると思います
- ・ 若い人にスキーの参加を積極的に呼びかける(スキーは金がかかるのでこの点の解消をどうするか)
- ・ スキーのクラブの存在を呼びかけ参加を誘う(スキーの楽しさを直接話す、クラブ会報の配布、教程ビデオの放映会など)
- ・ 高齢化は止められないので、若い人に入会を勧める以外ない、会員の子供や若い人にスキークラブの良さを伝えたい、まず行事に誘うことを大事にしたい、そのためには普段からスキーの楽しさを伝えられるように考えたい
- ・ 各クラブの会員増のためには、各クラブのホームページ作成による宣伝、情報発信等が必要と思います、東京スキー協加盟クラブでいまだにホームページ未作成のクラブへの助言、手助けや既に作成済みのクラブへのリンク設定等を推進してみてもいいと思います。
- ・ 新たな課題として物価上昇が重なってくると思います、スキー用具、リフト代、ガソリン代、宿泊代などがアップして経済的に余裕がある層しかスキーが続けられなくなるおそれ

があります、スキー協やクラブを通しての活動がより経済的にメリットがありより価値を感じられるようにすることが求められるようになると思います。

- スキーやスノーボードに関心のある若い世代はいて、会社での活動では増えてきているので、そういった若い世代に情報発信ができていないこと、スキー協として受け皿(参加しやすい環境)が出来ていないのではないのでしょうか、ターゲットを定めてそのターゲットにあった対策をしていくことが必要かと思えます。
- 現状や直近と 10 年前の比較をグラフ化していたすごく分かりやすかった、会員を増加するための工夫もされていて、行事への参加しやすさももっと手軽なものにできるのではないかと思った

スキー指導について大切にしていること(水上さんのお話)

- 「安全に帰す」 スキーは楽しいものだが自然の中で危険が存在しているということで、スノースポーツ安全基準を丁寧に具体的な話を聞き、細やかな配慮に気を付けて今後伝えていきたいと思いました。
- 安全第一に生徒さんと楽しく滑べるように努める、言葉遣いに注意を払う、解説が長すぎないように努める
- 安全第一とルールを守ることを伝えることをやっていない、指導するときにはレベル、年齢は考慮しているがコミュニケーションをよくすることも必要
- 安全第一はあらためて肝に銘じました、特に安全についての配慮を具体的に伝えるのは良いこと、大切なことだと確かめました
- 日々の活動の中での苦労はなしや裏話をもう少し掘り下げてお聞きしたかったところです、質疑応答時間の方を増やしてほしいです、こちらの時間の方が面白かった
- 指導経験豊富な生の声が沢山聞けて参考になりました(特に指導者が責任を問われるような行為について)

- さすがに現場で長年経験されている方なので重みが違います、ご本人のダイナミックな滑りとお話の穏やかさのギャップがすごい
- 周りのスキーヤーに対して気持ちを伝えることの大切さを学んだ、自分が思っている以上に相手のことを考えて事故を起こさない、未然に防ぐようにする、スキー協だけではなくプロスキー協会に所属する方の意見を聞いてとても勉強になった
- 観察、エッジングラインを見る、とても参考になる。
- カービング技術だけではなく、ずらすことも大切にしているスキー協とも通じる内容で親近感を持ちます、自然の中での楽しさを持ち帰ってもらう、参考にします
- プロコーチがパトの実体験に基づく話がよかった(リフトでの落とし物、けが人を不安にさせない、気候のこと)
- 受ける立場にたった考えがよい(声を伝えやすく、スキー協の指導員で声を張ってくれない人がいて聞こえないことがある、皆実践してほしい)
- 何年か前のテクニカルフェスタで1度だけ水上さんの滑りをみました、その時のダイナミックな滑りがとても印象的で、そこからの印象では「どんどん行くぞー」と気迫あふれる口調を想像していましたが、今回話を聞いてそのギャップがすごい、やさしい口調ですし、相手を気遣ってのいろいろな指導、大切なことを教えるために引出しをたくさん持っている、なにより自分に厳しく課題を課して指導と実践をされているのだらうと感じました



「寄稿」 アクション「ワタシのミライ」に行ってきました

愛知スキー協・ぶなの木 S.C. 会長 経塚 茂 (全国山スキー部副部長)

スウェーデンの環境活動家グreta・トゥンベリさんが始めた「Friday For Future」未来のための金曜日(FFF)が世界に広がり、各国にFFFができました。このFFFなどの環境団体の9月17日に気候危機対策に各国が真剣に取り組むように求めるアクションを起こそうと呼びかに呼応した取り組みアクション「ワタシのミライ」が、18日に東京の代々木公園で行われ8,000人(主催者発表)が参加しました。ニューヨークでは、マンハッタンで開催され、75,000人(主催者発表)が参加しました。



アクション「ワタシのミライ」は、11時からの音楽ライブから始まり、続いて原発問題、気候変動問題、隣接する社会問題をテーマにトークセッションが行われました。13時45分からPOWのオリジナル



ステージセッションが行われ、元フリースキースタイルスキーヤー小野塚彩那さん(2014年ソチオリンピックスキーハーフパイプで銅メダル獲得)、パラスノーボードダー市川貴仁さん(2022年北京パラリンピックスノーボードクロス5位)、元アルペンスキー選手清澤恵美子さん(2007年冬季アジア大会ジャイアントスラロームで金メダル獲得)が順番に各国を転戦して、温暖化が進む中で、氷河が解けて消えている現実を目の当たりにした経験や、自然の雪がなく人工雪での競技体験など深刻な状況を選手の目線で語っておられました。

最後に司会をしていたPOWのスタッフが私たちに訴えました。「私たちの呼びかけに敏感に反応して行動に立ち上がってくれる多くは、18歳や19歳の若者です。彼らは、彼らの未来に危機感を抱いているのです。しかし、私たち大人こそが、子や孫の未来に悲惨な状況を残さないように活動しなければならないのです。若者に任せっぱなしではいけないのです。皆さん頑張りましょう！一人の人が100の事をやるより100の人が一つの事をやるほうが力になるのです。一つ一つを積み上げていきましょう」。

セッション終了後は、代々木公園から渋谷までパレードをしました。先頭にはトラックの上にステージを作って音楽ライブ、その後ろを歩いているのは、やはりプラカードを持った若者たちでした。若者たちからエネルギーをもらおう一日でした。



東京スキー協

2023 平和駅伝&交流BBQ

スキーシーズンを前にみんなで楽しく交流しよう!! 1人でも参加できます!

日時 10月29日(日) (小雨決行 タープテントの用意あり)

集合場所・時間 *駅伝: 小金井公園北口広場 9時受付開始/9時30分開会・準備後スタート

*BBQ: ユーカリ広場・BBQ ショップ前 12時30分受付開始
13時スタート

参加費 ◆ 駅伝のみ参加 1,000円 (小、中学生割引あり) 傷害保険加入

◆ BBQ のみの参加 2,000円

◆ 両方とも参加 2,200円 (お得!)

※ 上記にプラス 1,300円で飲み放題 (ビール、焼酎、ワイン)

上記以外の飲み物の差し入れは大歓迎!

※ 敷物・椅子があれば持参願います。



参加申込み 10月13日(金)まで (案内チラシの裏面に申込書あり)

東京スキー協 FAX: 03-5834-8723 メール: info@tokyoskikyo.org

※ 当日キャンセル (BBQ) の場合、1,000円を後日申し受けます。

現地連絡先 会長・市川 090-4241-1926 / 理事長・出崎 090-4756-8086

2023平和駅伝実施要項

開催日: 2023年10月29日(日) 小雨決行

集合・受付: 9:00

開会式: 9:30

スタート: 準備出来次第

表彰式: 13:30頃 (BBQ会場にて)

場所: 都立小金井公園内 (公園散策路2.5km周回コース)

距離: 20km



チーム編成のルール

● 1チーム「5km/1人×4人」を基本とします。最小3人~最大8人の範囲で、20kmを1人あたり2.5km、5km、10kmと距離を分け合うことも可能です。

(小学生、中学生は、2.5kmとします)

※個人参加者も、当日混合チームに入って走ることができます。

● 男性、女性、ジュニア混合チームも可能です。女性にはタイムハンデがつきます。

(ハンデ: 5km走者は2分、2.5km走者は1分)

*参加対象者: 東京スキー協会会員登録者、未登録を問いません。1人でも参加可能。

*表彰: チーム1~3位 (チームに表彰状)

個人男女各1位~3位 (対象5km走者。表彰状)

雪崩ビーコン操作訓練の案内

主催：東京スキー協山スキー委員会
 主管：S.C こなゆき

スキーシーズンが近づいてきました。山スキー（バックカントリー）のリスクの一つに「雪崩」があります。「雪崩」に巻き込まれた場合に素早く救助してもらうため、また巻き込まれた人を一刻も早く救助するための雪崩トレーニング企画（雪崩ビーコン操作とプローブ、ショベルの取扱い）の案内です。

今回は、東京スキー協所属クラブの山スキー愛好者（山スキーリーダー含む）及び山スキーに興味がある人の参加を対象としています。また訓練終了後に昼食をとりながらの懇親会も予定しています。懇親会だけの参加も可能ですので、山スキーをしない方もぜひご参加ください。

講師は、①日本雪崩捜索訓練協議会上級コース受講修了者の**陶山正さん**(東京スキー協三多摩スキークラブ会員/労山所属) ②**木下光政さん**(労山雪崩講習会講師養成クラス終了/労山全国雪崩講習会講師歴任/労山練馬山の会所属/東京スキー協 S.C.雪けむり会員) 及びお二人の補助として③**島崎成利さん**(全国スキー協山スキー部長/日本雪崩捜索救助協議会上級コース受講修了者/日本雪崩ネットワーク雪崩業務従事者レベル1資格者)を予定しています。

日時：2023年11月18日（土）午前9時40分集合 10時開始 *雨天中止*

集合場所：都立・武蔵野公園 バス停留所に9時40分までに集合（集合後訓練場所に移動します）

アクセス：JR中央線「小金井駅」又は京王線「調布駅」からのバス利用

訓練場所：都立・野川公園内の広場

所在地：東京都三鷹市大沢 6-4-1 管理事務所 Tel 0422-31-6457

売店 Tel 0422-32-0685（軽食類とアルコール類を販売している）

- 訓練スケジュール
- ① 武蔵野公園に午前9時40分集合し野川公園に移動、10時開始～12時頃終了
 - ② 訓練終了後12時30分頃から、広々した公園内にて昼食（懇親会）
 - ③ 懇親会終了後 14時30分頃解散
- ※ 「懇親会」だけの参加も歓迎です（12時半までに野川公園へ）

参加申込書

所属クラブ名	氏名	メールアドレス	資料郵送希望者（住所）	懇親会(出○欠×)
			〒	

◆参加希望者は10月16日（月）までメールにて参加申込書を下記まで送信して下さい。

送先メールアドレス：contactkonayuki@gmail.com

- ・10月23日（月）までに参加者に実施要項をメールにてお知らせします。
- ・なお懇親会の参加費につきましては、後日送付する実施要項に記載します。

◆担当・菱沼正義（S.C.こなゆき・山スキーリーダー 090-2912-5202） ・大津 武（S.C.こなゆき 山スキーリーダー）

《バスの案内》

- ◎JR中央線「武蔵小金井駅」から（約10分）
 - ・武蔵小金井駅南口 6番乗場 9:17（京王バス「試験場・調布北口行き 武91」武蔵野公園下車）
 - ◎京王線「調布駅」から（約18分）
 - ・調布駅北口 13番乗場 9:12（京王バス「武蔵小金井駅南口行き 武91」多磨町バス停下車）
- ※帰りは「多磨駅」利用（JR武蔵境駅で乗り換え）





▲スキー協からの参加者が小松さんと緑陰で意見交換

▲POW 代表の小松吾郎さんや元アルペンスキー選手らが気候危機の深刻な状況について訴え



「ワタシのミライ」9.18

集会とパレードに参加



▲若者たちを先頭に渋谷コースと原宿コースに分かれ、気候危機打開！脱原発！を訴えてパレード

10・11月のカレンダー

10月	行事名	11月	行事名
4(水)	常任理事会	1(水)	常任理事会
17(火)	広報局会議	17(金)	山スキーの集い
19(木)	理事会③	18(土)	雪崩ビーコン
22(日)	関東B初・中級指導員養成理論	26(日)	山スキー講座
28(土)	指導員ミーティング		
29(日)	平和駅伝&BBQ		
31(火)	通信発送/総務局会議		

編集後記 エビノシippo

国連のグティエレス事務総長が「今まさに地球沸騰化の時代に突入」と重大な危機感を表明した。振り返って、この夏はまさに異常な暑さの連続だった。エアコンなしでは夜も過ごせない日々が続いて、本当に苦しかった。さらに太平洋の彼方では「エルニーニョ現象」が大規模に発生し、この冬も気温が高いと予報が出ている。スキーヤー・スノーボーダーにとって、また少ない雪に悩まされるのか。（小柳光雄）